

東根市で唯一の水車小屋が解体されました。

明治時代から東根市関山上悪戸地内にあった水車小屋が平成24年6月24日付けにて解体されました。

この水車小屋は昭和57年8月から圃場整備事業の受益地となり、管理・所有は上悪戸区（区長：清野忠昭氏）」であり現在まで長くシンボルとして大事に扱っておりましたが経年劣化によることと用水が圃場整備によって水路が狭くなり、水車を回す流量が少ないことから本体が回らず区民と協議した結果、維持管理の経費も今後増嵩する懸念から解体の運びとなりました。

これまで歴代区長が見守った水車小屋が解体されることは大変区の文化遺産が喪失されるので大変もったいないですが、経済的にも厳しいことが解体へと意識が高くなったものです。

解体前の水車小屋



水車小屋全体



同左



水車小屋内部



内部の石臼です。

解体中・後の水車小屋



水車小屋解体中



小屋梁その他の材料(釘が一本もなし)



水車小屋東側解体中



解体後の状況